

竹取新聞

地域での学び合い①

長崎県にある西崎保育園様へお伺いし、長崎県「見守る保育研修会」(以下、研修会)について園長の水田先生にお聞きしました。

現在、研修会では10年目を向かえEvolutional(発展・深化)Projectが行われています。この会は長崎県の保育協会青年部で活動していたメンバーを中心に活動が始まり、見守る保育に出会い実践を発信していくことで、研修会に参加するメンバーも次第に増え、実践園に変わっていったそうです。研修会は今では30回を数え、現状に満足している様子が見受けられるようになり、「見守る保育とは

何か」について今一度見直そうと今回のプロジェクトの趣旨に至ったそうです。

各園の更なる実践の発展・深化に向けこれまで午前中のみだった公開保育を3日間実施することにより、公開保育のあり方に変化があったようです。また、保育についてより多くの方へ発信していくために、園長・副園長などのプレゼン力向上の企画と新たな挑戦が行われています。

私たちも継続と振り返りを大事に実践を積んでいきたいと思えます。次号では研修会の取り組みについてご報告させていただきます。



資料自体が園の実践発表になっています



各園での学び合いから「保育の発展・深化」が生まれています。

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第70版

理念と実践で 絆を結びます

偏らない学び

大阪は門真市にあります。私たちは幼稚園様にお伺いしました。

1・2歳児の乳児クラスでは子ども達が主体的に遊びを選択・展開できるようにする為に異年齢児で活動し、子ども達の興味関心・発達に合わせたゾーンやコーナーが用意されています。また去年は子ども達の発達を5領域で伝えていく「成長展」を行ったそうです。

それは例えば表現の領域の発達で言えば「今その子が何を描けるか」ということ(作品展)でなく、どのように描けるようになったか(成長展)を保護者に伝える為に行ったそうです。

実際に取り組むためにも新宿せいが保育園の成長展へ見学に行き、その環境を真似るだけでなく、園長の藤森先生の臥竜塾ブログから成長展

に関する記事を探し出したそうです。

それを読みながら「なぜそれが子ども達にとっても先生たちにとっても大事なのかを自分自身で納得するまで考えてみる、その繰り返しを大事にしました。」とお話し頂きました。

「まだまだ学びの最中です。」と熱く語られる榎橋先生を見て、学びとは「行動」とその背景にある「理念」、その両方を自分自身が習得するまでずっと学び続けることなのだ教えて頂きました。

私たちも、どちらかに偏らない学びを大切にしていきたいと思えます。



子ども達を主軸に環境が日々、整えられています。

発展するコダワリ

福岡県太宰府市にある、ゆたか保育園様にお伺いしました。建て替えて間もない園舎の入り口から中を見ると、目の前に飛び込んでくるのは大きなガラス張りの調理室。玄米食などを取り入れている、食を大事にしている園様だからこそ、建て替えの際にはあちこちの他園を見学し、今の形になったのだそうです。正面のガラス部分に、朝はその日に使う食材を置き、調理した後は出来たものを置く。すると親御さんはそれを見てその日の買い物を決めたり、「これ食べたの?」などとコミュニケーションが生まれるのだそうです。実は先生方が普段お

使いになる隣の事務室を小さくしてまで、このような調理室にしたという裏事情まで聴かせて下さいました。そして更に、食のコダワリは調理室だけでなく「食を通しての循環」にまで発展していました。園庭に多数あるコンポストによって堆肥が作られ、出来た肥料を畑に使って野菜を育てる。落ち葉も草も食べ物のカスも、全ては「ゴミではなく循環していくもの。そのような自然の不思議さや偉大さを子ども達は興味津々に体験から学んでいるのだそうです。

私達も園様のように理念からの実践を深めていきたいと思えます。



子どもの背丈でも見える調理室。自然と食への興味が湧いてきます。



市のNPO法人の方をお招きして、コンポストの講習会も開いています。

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

CCN Caguya Company News カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

大切なことを：

3月31日から弊社ホームページにてクルーが綴る「ミマモリストの実践」ブログが始まりました。
カグヤでは、毎日頂くモノごと・人との一期一会を、心を込めて味わうことを大切にしています。



『ミマモリストの実践』
<http://www.caguya.co.jp/mimamolist/>

ただ、日々の業務に追われていくと、自分の感情に流され、大事な初心を見失ってしまう…。心は荒れていき、鏡写しのようになってしまう。心が荒れていき、鏡写しのようになってしまう。心が荒れていき、鏡写しのようになってしまう。

そこで、自分の心の状態を澄まして、一日日を味わっていく実践が誕生しました。この「ミマモリストの実践」ブログは、毎日記事を作成する度に、自分の初心を思い出し、一日を味わっていく実践になっています。

毎日の更新は、まさにノンストップ。ホームページに掲載させて頂くことで、これはもう一人だけの実践ではなくなっています。周りの仲間が読み、初心から綴られた内容や、毎日の更新する姿に、心を込めた実践の大切さや、自分に打ち克つ勇気をもたらしています。

一人の挑戦、チームの挑戦。お互いに仲間の挑戦を応援しながら、初心からの生き方を磨き合っていきたいと思っています。

駅伝部始めました



新たな挑戦への疾走！カグヤ魂は果てしなく…



熱い想いをタスキに込めて…

ひとりのクルーがランニングを始め、たの皮切りに、社内では朝ランブーム。冗談まじりに、皆で大会に出よう、まずはハーフから、せっかくなら協力し合うのがいいね、そうだ駅伝とか良くない？などと笑っていたところに訪れた社長の誕生日。ダルマを作って名入れ

したり、獅子舞いを披露するなど毎年恒例のおもしろ企画に続き、今年も駅伝部発足です。早速、タスキデザインを思案します。名入れ文字は、6種類から目をつぶって一斉に指差し。見ずには選ぶスリルに緊張が走ります。勢いそのままに、プロモーションビデオまでつくることに！各自、自撮りした素材を編集し、音楽を入れればスポーツCM並みのPVの完成です。そこには各々の駅伝への意気込みが語られ、厳しい鍛錬(?)に耐える姿が写し出されます。こうして冗談から始まった駅伝部はデビューの日を今かいまかと待ちわびています。

心の通い合い

出張のクルーに渡す「出張セット」。以前は、出張疲れの体が癒せればと、玄米酵素や青汁、レモン飲料など、皆に定番のものでしたが、ものによつてはクセが強く、実際に飲んでいない、なんてことも…。そこで最近は「あのクルーは、疲れた時に甘いものを欲するからチョコを」「甘いものが苦手だからおせんべい」「お酒飲むから味噌汁がいいかも」と、相手の好みや状況を想像して、それ



会社を代表して出張する仲間に心を込めて…



メッセージも添えてます

それ中身を変えてみたところ…。以前よりワクワク度が増し、更には相手からも「真心をありがとうとございます！」と喜んでもらえ、ますます心の繋がりを感じて幸せな気持ちに。そんな心の通い合う働きを、仲間と一緒に大事にしていきたいです。

一期一会庵

「先祖になる」

先日、私事ですが祖父の13回忌の法事を行う機会がありました。親族親類が墓前に集まり、亡き祖父の生前の思い出話をしましたがその人柄が物語の中からはじみ出てきて無二の縁を感じる有難い機会を過ごせました。

よく考えてみると今の私たちが生きていくのは、かつてここまで希望といのちをつないでくださった方々の存在があるからです。

つまり結ばれた先人たちの存在がみんな私たちの先祖たちとも言えます。そしていつの日か私たちが子どもたちの先祖の一員になる日が来るのです。

自分の先祖を遡れば、父母が2人、祖父母が4人、曾祖父父母は8人とその上の代は16人となります。さらに遡れば10代前は1024人、13代前は8192人、14代前は1万6384人と1万を超えます。そして17代前は13万1072人と、10万人を超え20代前になると、104万8576人になります。

また一人の一生が約50年と仮定して28日目で1400年前、そうすると1億人を超える先祖が今の自分の誕生まで関わっていることとなります。これは決して他人事ではなく、自分の今生があるのは自分を大切に育てて今につながるくださった多くの方々の御蔭様のいのちの塊です。

先祖のことを思う時、どれだけの人たちが大切に生きてくださったか今の自分の倖せがあるのかを感じるとあまりの恩沢洪大に感極まっています。自分のことだけを思えば二度しかない人生ではありませんが、本来のご縁を感じればこの人生は決して自分一人だけのものではありません。

未来の子どもたちにもあの代があつたから今の平和があると言われるような一生を、そして先祖として恥じない子ども第一義の生き方をこれからも実践していきたいと思えます。

編集後記

今月もご覧頂きありがとうございました。梅雨までの過ごしやすい季節ではありますが、体温調節にお気をつけてお過ごしくださいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を实践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)